



ダイキン ヒートポンプ式マルチ床暖房

据付説明書 密閉型




二次元バーコードは製造用コードです。

安全上のご注意


●据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、据え付けてください。
ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


 警告	誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	 注意	誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
---	--	---	--

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

 指示を守る	 アース線接続	 禁止
--	---	---

●据付工事完了後および各種設定確認後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

 警告	
<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 お客様ご自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に進行。 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 ●設置工事事品は、必ず付属品および指定の部品を使用する。 指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災の原因になります。 ●据付けは、質量に十分耐える所に確実に進行。 強度不足や取付けが不完全な場合、ユニットの落下により、けがの原因になります。 ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。 ●据付工事は、必ず電源を切って行う。 電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。 ●アース工事は、必ずD種接地工事を行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。 ●漏電しゃ断器を必ず取り付ける。 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になることがあります。 ●配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。 施工不備があると、発熱、感電、火災の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。 接続や固定が不完全な場合、発熱、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットと室外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなど構造物が浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付け。 カバーの取付けが不完全な場合、端子部の発熱、感電、火災の原因になります。 ●床暖房ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。 空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●指定冷媒(R410A)以外は使用しない。 機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。 ●ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。 冷媒配管が取り付かれておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。 ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をする。 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●設置工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーターやコンロ、ストーブなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。 ●配管・フレアナット・工具は指定冷媒(R410A)専用のものを使用する。 既存冷媒(R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破壊などの重大な事故の原因になります。

 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。 万一ガスが漏れて、ユニットの漏目にたまり、発火の原因になることがあります。 ●床暖房ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になります。また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。 フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になることがあります。

据付場所の選定

●下記断熱が施された住宅であることを確認してください。

適用地域	年最低気温がおおむね -5℃以上の地域	年最低気温がおおむね -20℃以上の地域
住宅の断熱仕様 (住宅金融公庫 省エネルギー住宅)	一般型であることが 必須条件 (次世代型を推奨)	次世代型であることが 必須条件

- 年最低気温が-10℃を下回る地域や、昼間も0℃以下の気温が数日続く地域、凍結が頻繁に起こるような地域は床暖房ユニットおよび水配管を屋内設置にするか、指定不凍液を使用してください。
- 温水配管部分で凍結しないよう、地域の気象条件に合わせて断熱を増すか、凍結のおそれのない場所に設置してください。
- 据付場所は、お客様の同意を得て決定してください。

ワイヤードリモコン

●ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。

室外ユニット

●室外ユニットの据付説明書をご覧ください。

床暖房ユニット

- 製品の質量に耐え、水平に据付けできる所。
- (床暖房ユニットの据付け) 据付パターンで示す据付スペースが守れる所。
- 水が流出しても支障のない所。(防水・排水ができる所)
- 雨、強風、直射日光があたりにくい所。
- 消防法および都道府県の条例などを満足する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
- 海岸地域など塩分が多い所、硫化ガス成分が多い所、機械油など油の蒸気が発生する所では、床暖房ユニットの寿命が短くなることがあります。
- 運転音が隣家の迷惑にならない所。
(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足すること。)
- 屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した所。(物置、納戸、機械室等)
- テレビ、無線機などのアンテナより3m以上間隔を取れる所。
- パネルヒーター(ラジエーター)
●パネルヒーター(ラジエーター)の据付説明書をご覧ください。




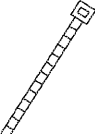


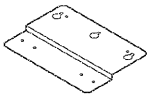
据付工事のポイント

床暖房ユニット

工事のポイント	記載箇所
●本機は、 200V専用室外電源機 です。 電源電圧に注意し、電源仕様を確認の上、配線工事を行ってください。	床暖房ユニットの据付け④ 4 配線工事
●必ず漏電しゃ断器の取り付け、D種接地工事を行ってください。	
●凍結が頻繁に起こるような地域は、床暖房ユニットおよび水配管を屋内設置にするか、不凍液を使用してください。	床暖房ユニットの据付け④ 3 温水配管工事
●温水配管は必ず銅管をご使用ください。	
●温水配管は、地域に合った断熱を施してください。	床暖房ユニットの据付け①
●電源ブレーカーを入れた後に、メインリモコンで初期設定を行ってください。	①電源投入
●冬期にお客様への引き渡しまでに、電源ブレーカーを切られる場合には、必ず水抜きを行ってください。また、引き渡し時には給水してください。 (指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)	取扱説明書「長期間使わないとき」参照
●電源投入後は、下記の手順に従って試運転を行ってください。 ①床暖房ユニットの給水運転 ②室外ユニットの誤配管・誤配線チェック ③床暖房ユニットの試運転 ④室内ユニットの試運転 ⑤通常運転	⑥給水運転 ⑧試運転 室外ユニットの据付説明書を参照
●屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。 (物置、納戸、機械室等)	床暖房ユニットの据付け③

付属部品

※リモコンコードは別売品です。

リモコンセット						据付板	取扱説明書 (1部) 据付説明書 (2部) 保証書 (1部)
ワイヤード リモコン	木ネジ	小ネジ	結束バンド	配線押さえ	床暖房ユニット側 結束バンド		
 (1個)	 (φ3.5×16) (2本)	 (M4×16) (2本)	 (1本)	 (1個)	 (1本)	 (2個)	

別売品

リモコンコード

品名	品番	
リモコンコード (2芯)	5m	KRCW301A05
	8m	KRCW301A08
	12m	KRCW301A12
	20m	KRCW301A20
	50m	K-RW2050A
	100m	K-RW2100A

5～20mはY端子付きです。リモコン側はY端子をカットして使用願います。

- 必要な距離に応じて、該当するリモコンコードを用意してください。
- 合計線長は50m以下にしてください。

指定不凍液

- 地域により必要です。
品番：KM-37
(同等品、ショーワ(株)製 M-37)

増設リモコン

- 使用できません。

置台

- 床置き設置する場合に必要です。
品番：KKS023A4

密閉式システムの主な現地調達部材

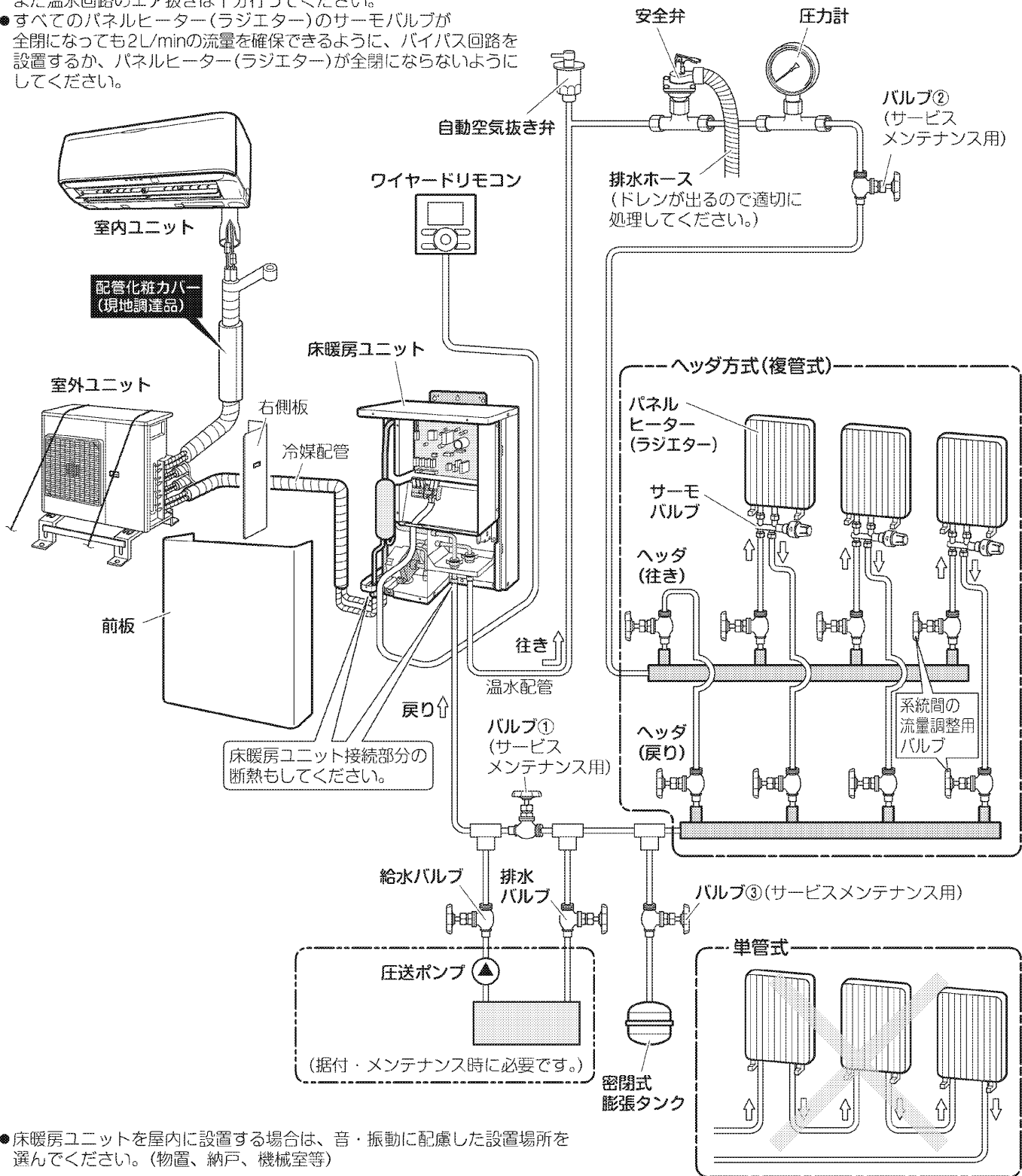
	部材	仕様
①	安全弁	190kPa
②	自動空気抜き弁	—
③	圧力計	最大表示 0.3MPa～0.5MPa
④	密閉式膨張タンク	設定圧力、容量は、4ページを参考に選定してください。
⑤	バルブ	20A

- 給水時には、圧送ポンプが必要になります。

床暖房ユニットの据付け①

パネルヒーター(ラジエーター)施工制約

- 各パネルヒーター(ラジエーター)で制約が異なります。使用させるパネルヒーター(ラジエーター)の据付説明書および技術ガイドに従ってください。
- 暖房負荷に合ったパネルヒーター(ラジエーター)の選定を行ってください。行き温度50℃で設計してください。
- 温水配管に樹脂配管を使用すると、パネルヒーター(ラジエーター)内に錆が発生する原因になります。必ず銅配管をご使用ください。
- 温水配管は、ヘッダ方式(複管式)にしてください。
- 温水回路の保有水量に応じた密閉式膨張タンクを選定してください。
- 温水回路は必ず密閉され空気の混入がないようにしてください。また温水回路のエア抜きは十分行ってください。
- すべてのパネルヒーター(ラジエーター)のサーモバルブが全閉になっても2L/minの流量を確保できるように、バイパス回路を設置するか、パネルヒーター(ラジエーター)が全閉にならないようにしてください。

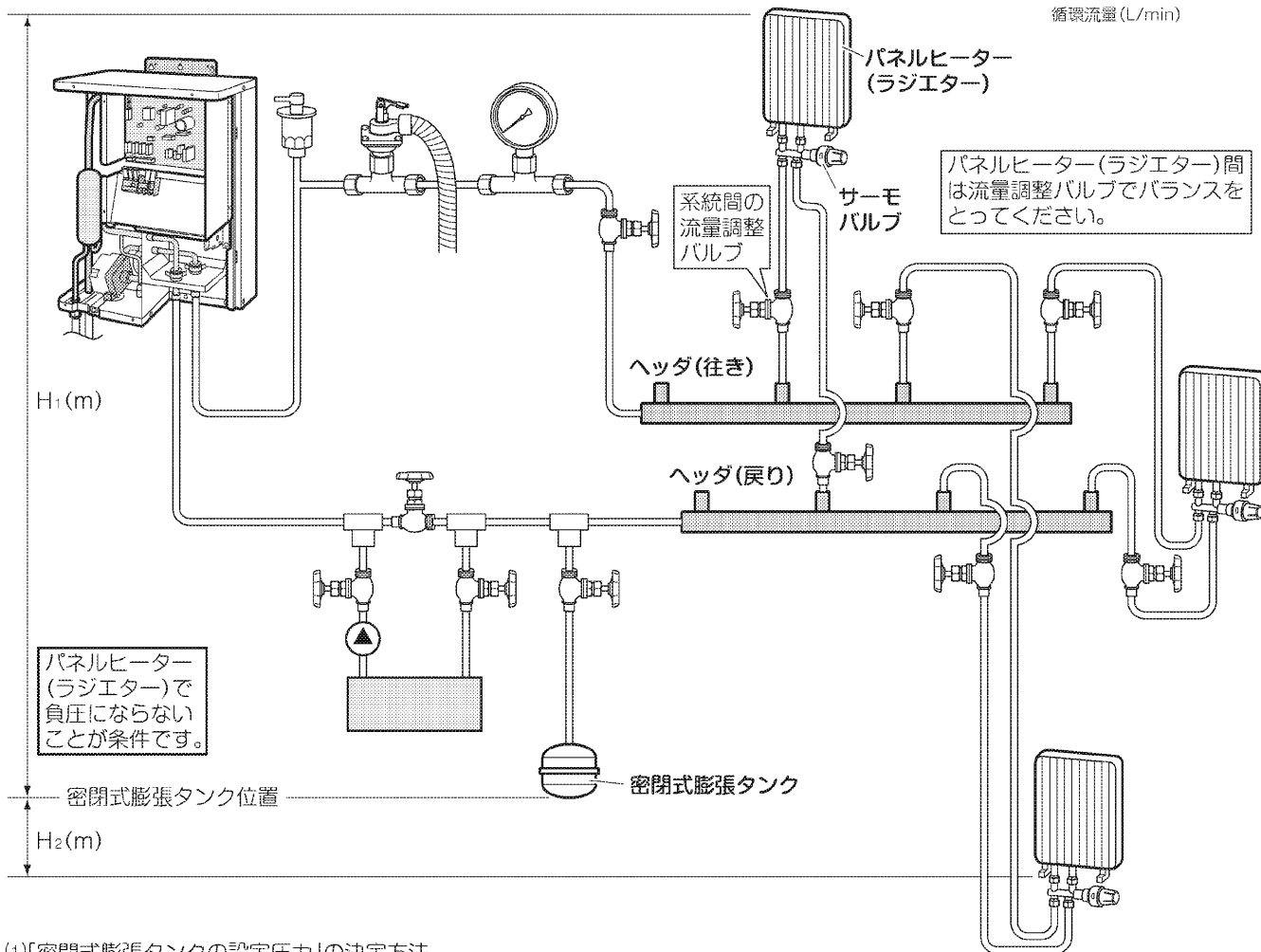
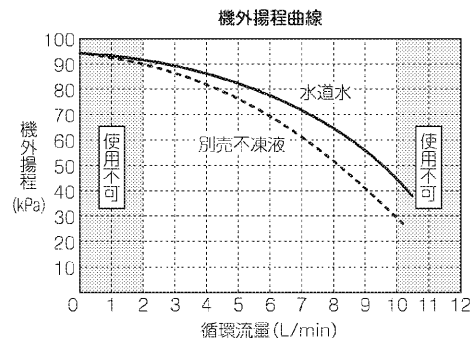


- 床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

床暖房ユニットの据付け②

パネルヒーター(ラジエーター)の最大許容高低差

パネルヒーター(ラジエーター)や温水配管長さや曲がりを含めた温水回路の全損失水頭が右図床暖房ユニットポンプ機外揚程曲線の使用不可域にならないようにしてください。



(1)「密閉式膨張タンクの設定圧力」の決定方法

「密閉式膨張タンクの設定圧力」= P₁(補給水圧力)

$$P_1(\text{補給水圧力}) = H_1(\text{m}) \times 10 + (0 \sim 20) \quad (\text{単位: kPa})$$

注1) 20kPaは、パネルヒーターでのエア抜きに必要な圧力。水張り時や運転中にエア抜きを行うことで不要になります。

(2)「密閉式膨張タンクの容量」の決定方法

(水と不凍液で膨張率εが異なるため、必要な容量も異なります。)

$$\text{密閉式膨張タンクの容量 } V = [V_s \times \epsilon] \div [1 - (P_1 + 100) / (P_2 + 100)] \quad (\text{単位: kPa})$$

V_s : システム全水量 (単位: リットル)

ε : 温水平均温度における水(不凍液)の膨張率

[温水温度60℃ ε=0.0171(水) / ε=0.0275(不凍液: オークー器材 別売品KM-37)]

P₂ : タンクにかかる最大圧力=安全弁設定値(190kPa) - ポンプ閉切揚程(90kPa)

(計算例) システム水量100Lの場合

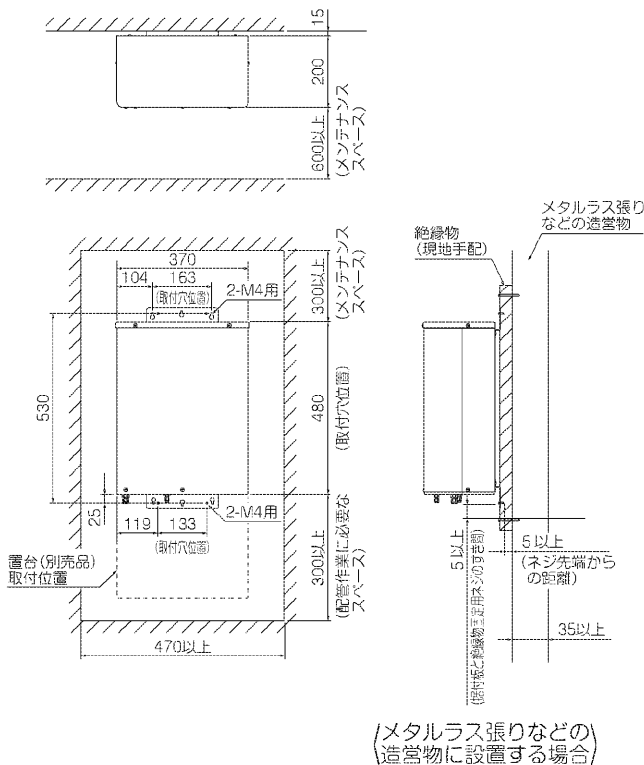
(計算例)	安全弁 設定圧力	密閉式膨張タンク 設定圧力(補給水圧力) P ₁	密閉式膨張タンク にかかる最大圧力 P ₂	密閉式膨張タンク容量	
				水	不凍液
2階設置まで(高低差5m)	190kPa	50kPa	100kPa	7L	11L
3階設置まで(高低差8m)	190kPa	80kPa	100kPa	18L	28L

* H₂(相当圧力): 膨張タンクより階下のパネルヒーターの耐圧によって決定

床暖房ユニットの据付け③

1 壁掛け設置

【寸法図】(単位: mm)

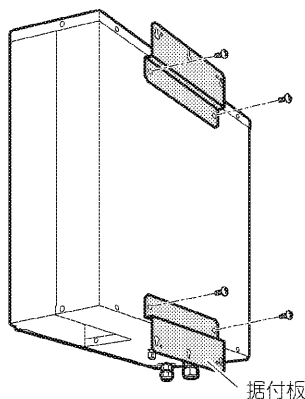


ご注意

- 必ず垂直な壁に据え付けてください。
- 床暖房ユニットを屋内に設置する場合は、音・振動に配慮した設置場所を選んでください。(物置、納戸、機械室等)

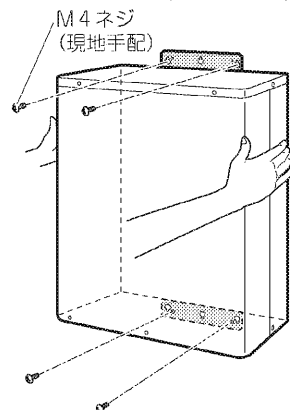
① 据付板を取り付ける(2個)

- 床暖房ユニットの背面に、取り付けてあるネジをはずし、付属の据付板を取り付ける。(ネジ4カ所)



② 壁面に床暖房ユニットを取り付ける

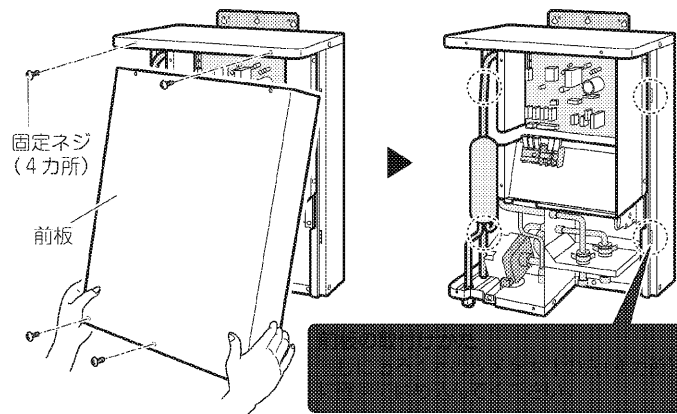
- 壁に取り付ける。(ネジ4カ所)



※壁面がメタルラス張りなどの造営物の場合、床暖房ユニットと壁面の間に、絶縁物を入れてください。

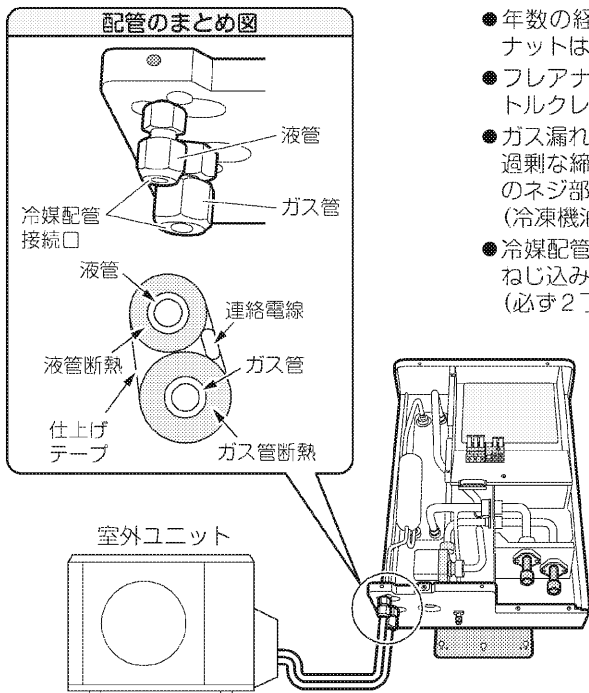
③ 前板を取り外す

- ①固定ネジ(4カ所)を取り外す。
- ②前板を下方向へスライドし手前に引き下げる。



2 冷媒配管の接続

配管のまとめ図



- 年数の経過によるフレアナットの腐食割れを防ぐため、フレアナットは本体付属のものをご使用ください。
- フレアナットの割れ防止およびガス漏れ防止のため、締付け時はトルクレンチをご使用ください。
- ガス漏れ防止のため、フレア内面に冷凍機油を塗ってください。過剰な締付けトルクにならないよう、フレア外面やフレアナットのネジ部には冷凍機油を塗布しないでください。(冷凍機油はR410Aのものをご使用ください。)
- 冷媒配管接続部は、フレア中心を合わせ最初手回しで3~4回転ねじ込み、その後所定のトルクでしっかりと締め付けます。(必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください。)



フレア加工や、エアバージ、ガス漏れ確認が必要です。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照してください。

フレアナット締付けトルク

ガス側	液側
32.7~39.9N・m (333~407kgf・cm)	14.2~17.2N・m (144~175kgf・cm)

■フロンについて



この製品には最大でCO₂(温暖化ガス)10,500kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

(MU)

床暖房ユニットの据付け④

3 温水配管工事

温水配管の水漏れ試験

- パネルヒーター(ラジエーター)などを接続後、パネルヒーター(ラジエーター)などの水漏れ試験要領に従って実施してください。
- 本体にバイパス管はありません。温水回路が全閉にならず最低 2L/minの流量が流れるようにしてください。

温水配管の洗浄

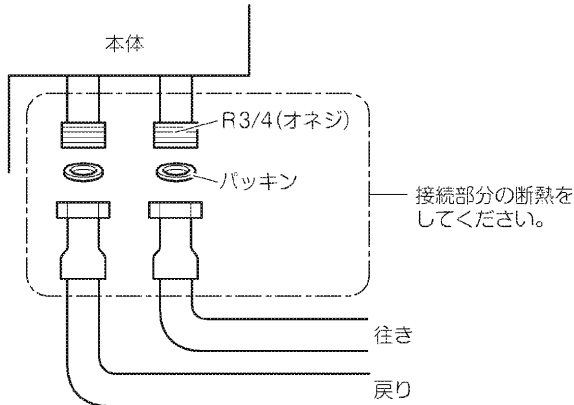
- 各系統を1回路ずつ順に水道水を用いて、フラックスや工事中の異物の洗浄を行います。洗浄後、エアコンプレッサを用いて配管内に水が残らないように排水します。

床暖房ユニットへの温水配管の接続

- 本体の温水配管接続口へ、行き・戻りの配管を接続します。
- 異物を入れないように注意してください。
- 必ず2丁スパナで締め付けてください。

温水配管の断熱

- 設置場所に応じた断熱を行ってください。



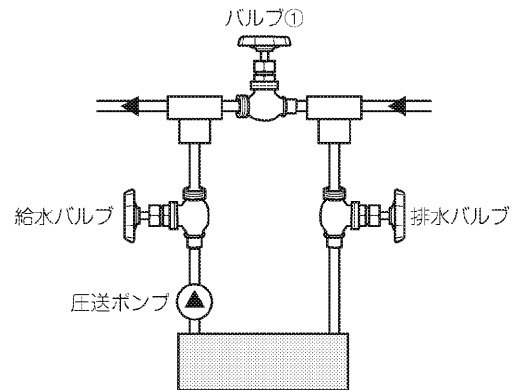
下記の条件を満たす保温材をすき間のないように確実に巻き付けてください。

保温材の条件	保温材厚さ
材質：発泡ポリエチレンフォーム 耐熱温度：70℃以上 熱伝導率：0.041～0.052W/mk (0.035～0.045kcal/mhc)	20mm以上(注1)

注1. 寒冷地または配管長さ片道15m以上の場合は保温材の厚みは30mm以上としてください。また屋外の配管途中のバルブ類には凍結予防ヒーターを取り付けてください。

水回路への給水

- (1) 水張り用圧送ポンプに、きれいな水道水、または、専用不凍液を入れる。(異物を入れないよう注意)
- (2) 排水バルブ、給水バルブを開く。
- (3) バルブ①を閉める(下図参照)。
- (4) 温水回路上に熱動弁やサーモバルブがある場合はすべて「開」にしてください。
- (5) 圧送ポンプを「ON」にして、水回路へ給水します。



エア抜き

- (1) 圧送ポンプのスイッチを「入」にする。
 - 圧損・高低差の大きい回路から順に1回路ごと負荷側のバルブ操作を行いエア抜きをする。
 - 圧力ゲージが安全弁の設定圧力以上にならないよう排水バルブで調節する。
- (2) 温水配管内の空気が圧送ポンプに戻り、圧送ポンプ内の水位が減るので循環液を補給する。
 - 完全に空気が抜けるまでエア抜きを行う。(「ゴボゴボ」という音が消えるまで)
 - パネルヒーター(ラジエーター)のエア抜きは確実に行ってください。エアが残っていると穴あき(腐食)の原因となります。

エア抜きが完了後、圧力設定を行う。

- (1) 負荷側のバルブをすべて「開」にする。
- (2) バルブ①を「開」にし排水バルブを徐々に「閉」にする。
- (3) 圧力ゲージが密閉式膨張タンクの設定圧力以上になったら給水、排水バルブとも「閉」とし、圧送ポンプを止める。
 - 圧力の微調整は圧力ゲージを見ながら給水、排水バルブを開閉して行う。
 - 試運転にて湯温が50℃以上でポンプ運転中のとき圧力が安全弁の設定圧力を超える場合は、密閉式膨張タンクの容量不足ですので、密閉式膨張タンクを再選定してください。

注意

温水配管に樹脂配管を使用するとパネルヒーター(ラジエーター)内に錆が発生する原因になります。必ず銅配管をご使用ください。

床暖房ユニットの据付け⑤

4 配線工事

警告

- 据付工事は、必ず電源を切って行ってください。電源を入れたまま電気部品に触れると、感電の原因になります。
- 連絡電線の途中接続、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- リモコンコードの途中接続、タコ足配線はしないでください。
- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」(内線規程)に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電の原因になります。

前板を外して作業を行います。

ネジを外し、下方へスライドし取り外します。(ネジ4本)

リモコンの取付け

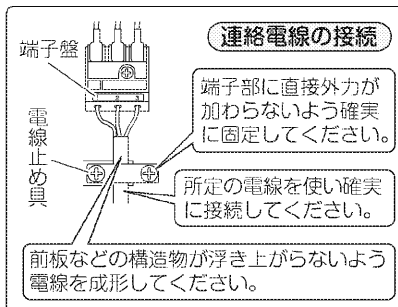
ワイヤードリモコンの据付説明書を参照してください。

リモコンコードの接続

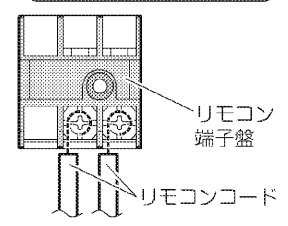
リモコンコード(別売品)をリモコン端子盤に接続します。

連絡電線の接続

- ① 電線の被覆むきを行います。(必ず15mm)
- ② 電線の色を確かめ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込みます。
- ③ 確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめます。
- ④ 電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具で電線を固定します。

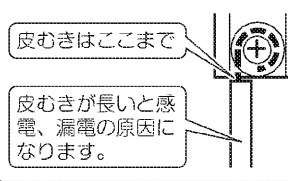


リモコンコードの接続

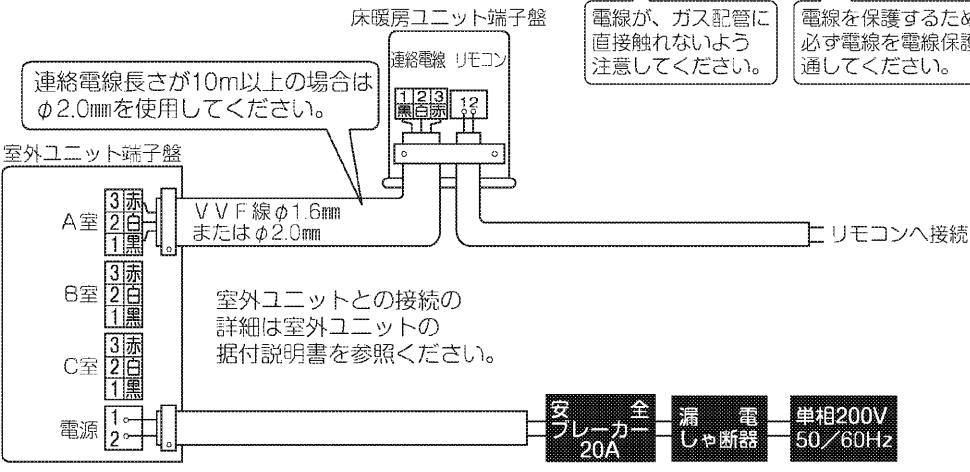
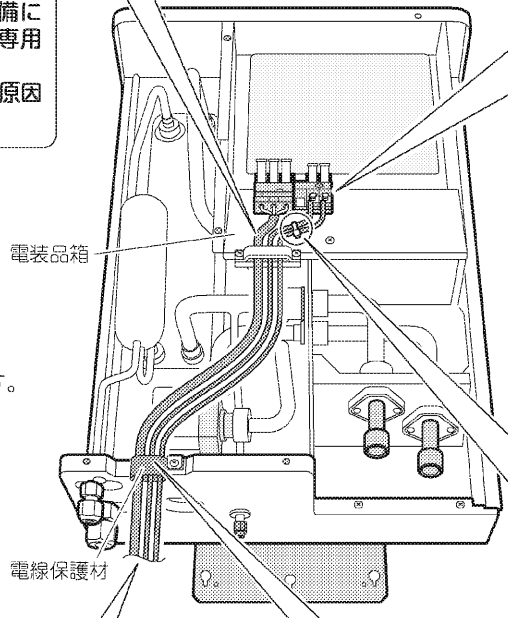


端子盤に接続する場合は、先端のネジに、必ず右巻きで巻き付けてください。

- 端子のネジはしっかり締め付けてください。
- 端子盤への差込みかたは上図のようにしてください。
- 端子部の皮むきは下図を参照してください。



電装品箱の穴に取り付けてください。



アース工事

警告

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
- ガス管は、ガス漏れ時に爆発、引火の危険性があります。
- 水道管は、感電の危険性があります。また、硬質ビニール管を使用の場合、アースの効果がありません。

接地の基準

- 漏電しゃ断器(高調波対応品)を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。(本機はインバーター装置を有するため、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。)

D種接地工事について

- 電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は500Ω以下にしてください。漏電しゃ断器は定格感度電流30mA以下で動作時間が0.1秒以下の電流動作型のものを取り付けてください。

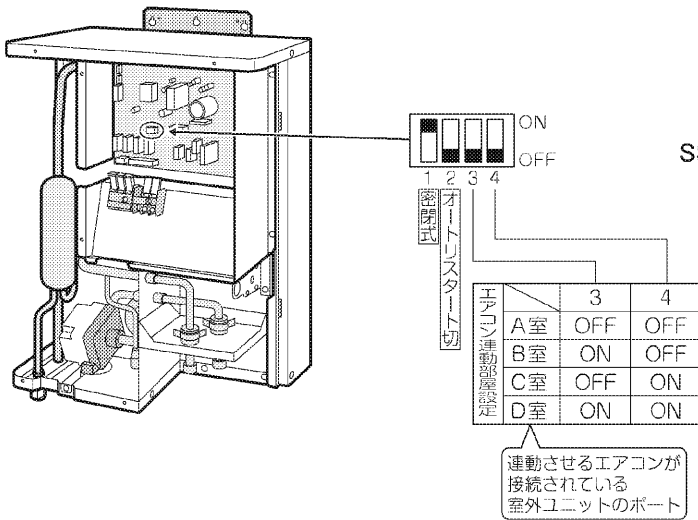
アース工事のしかた

- 室外ユニットの据付説明書を参照ください。
- 室外ユニットには、必ずアース工事を実施してください。

ディップスイッチの設定

警告

- この作業は、必ず電源を切って行ってください。
- 樹脂製の棒状のもの(キャップ付きペンなど)でディップスイッチの操作をしてください。
- ぬれた手で操作しないでください。感電の原因になります。



SS1-1...ONを確認してください。

SS1-2...OFFを確認してください。

ONにすると、運転中に停電があった場合、復電後自動的に運転を再開します。(タイマーはキャンセルされます。) お客様の要望があった場合のみONにしてください。

エアコン連動の設定を「入」にしている場合は、エアコンも運転を開始します。エアコンを運転させたくない場合は、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

注)試運転後は必ずリモコンで停止してから電源を切ってください。

SS1-3~4...●エアコン連動させる場合

床暖房のリモコンの運転/停止に連動して、運転/停止するエアコンを設定します。

●エアコン連動させない場合

床暖房ユニットが接続されているポートの部屋を設定し、床暖房のリモコンでエアコン連動の設定を「切」にしてください。

●エアコンの接続がない場合

ディップスイッチの設定は行いません。

床暖房のリモコンで、エアコン連動の設定を「切」にしてください。

※エアコン連動させるエアコンは、パネルヒーターと同じ部屋に設置してください。

※エアコン連動部屋はお客様と相談の上、設定してください。

注)床暖房ユニットを2台以上接続する場合は、同じ部屋を設定しないでください。

※E室の設定はできません。

(例)

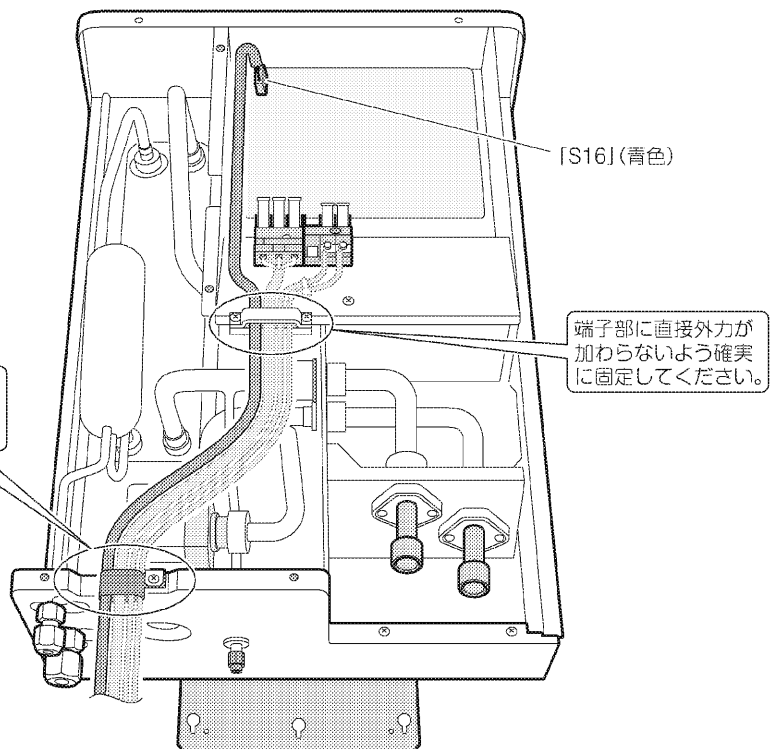


HAシステムと接続する場合

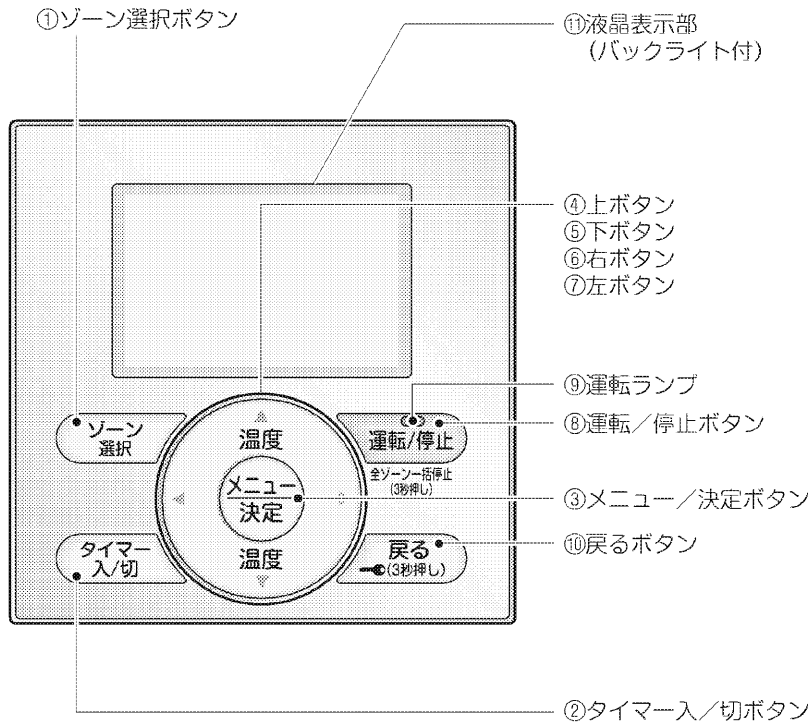
床暖房ユニットの前板を外し、プリント板の「S16」(青色)にHA接続コネクタを取り付けます。

接続コードの引き回しは図を参考にしてください。

コード引き出し口に、他のコードと合わせて電線保護材の中を通してください。



リモコンの各ボタンの機能とメニュー項目



注意
 上下左右ボタン操作は、必ずボタンの▲印部を押してください。

①ゾーン選択ボタン

ゾーンの切り換えます。
密閉型の場合、機能しません。
 (**密閉型**の場合、「A」ゾーンのみです)

②タイマー入/切ボタン

タイマー設定を切り換えます。

③メニュー/決定ボタン

- メニューを表示します。
 (メニューの詳細内容は取扱説明書をご覧ください。)
- 設定を決定します。

メニュー一覧

タイマー時刻設定
 快適自動
 時計合せ
 サービス連絡先/機種名
 給水運転
 水抜き運転
 温度エリア設定
 ゾーン名登録
 コントラスト設定
 バックライト設定

④上ボタン▲

- 設定温度を上げます。
- 反転表示を上方向へ移動させます。
- 選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼

- 設定温度を下げます。
- 反転表示を下方向へ移動させます。
- 選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶

- 反転表示を右方向へ移動させます。

⑦左ボタン◀

- 反転表示を左方向へ移動させます。

⑧運転/停止ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

⑨運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。異常時には点滅します。

⑩戻るボタン

- 基本画面に戻ります。
- 約3秒間長押しでチャイルドロックを設定します。
- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しで、現地設定メニューが表示されます。(床暖運転停止中のみ有効です。)

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定
 循環液設定
 ゾーン設定
 給水運転
 試運転
 温度エリア設定
 ゾーン名登録
 サービス連絡先登録

⑪液晶表示部(バックライト付)

操作ボタンのいずれかを押しとバックライトが約30秒間点灯します。

① 電源投入

- 床暖房ユニットの配線工事が完了しているか確認してください。

1. 電源投入後、次の表示が出ます。
 “接続確認中 しばらくお待ちください”

② 現地設定メニュー

- 基本画面で「戻る」ボタンを先に押しながら、「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする。(初回電源投入時は、長押しは不要です。)
- 警告画面が表示される。「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 確認画面が表示される。「◀▶」ボタンで「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 現地設定のメニュー画面が表示される。メニュー一覧の内容は、以下の通りです。

現地設定メニュー一覧

パネル種類設定	※1
循環液設定	
ゾーン設定	
給水運転	
試運転	※2
温度エリア設定	
ゾーン名登録	
サービス連絡先登録	

※1 必ず設定してください。

※2 **密閉型** はすべて「A」ゾーン1つのため設定は不要です。

設定が完了すると「戻る」ボタンで基本画面に戻ることができます。

①試運転 現地設定メニューの設定を変更した場合を参照してください。

ただし、※部の設定が完了していないと基本画面に戻ることができません。

- <基本画面>

タイマー入/切

「戻る」ボタンを先に押しながら「タイマー入/切」ボタンを約10秒間長押しする
- <現地設定警告画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定確認画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>

③ パネル種類設定

- 現地設定メニュー画面で、「パネル種類設定」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。**密閉型** の場合必ず **タイプ4** に設定してください。
- パネルタイプを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

パネル種類	パネル名
タイプ1	
タイプ2	開放型 で使用
タイプ3	
タイプ4	密閉型 (パネルヒーター(ラジエター)の場合必ずこの設定)

- 「はい」を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

パネル種類設定画面で「戻る」ボタンを押すと現地設定メニュー画面に戻る。

- <現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <パネル種類設定画面>

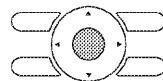
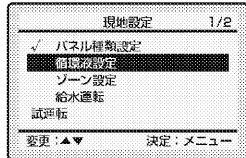
「メニュー/決定」ボタンを押す
 - <確定確認画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す
- <現地設定メニュー画面>

④ 循環液設定

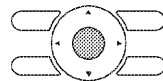
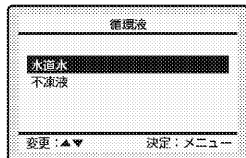
1. 現地設定メニュー画面で、**循環液設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 水道水か不凍液を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
●寒冷地では不凍液を使用してください。もしくは、床暖房ユニットを室内に設置してください。
3. **はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



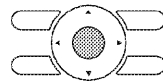
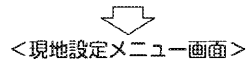
「メニュー/決定」ボタンを押す

<循環液設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

⑤ ゾーン設定

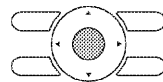
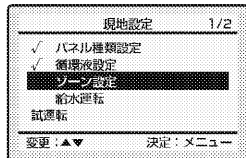
密閉型 は熱動弁が組み込まれていませんが、下図<ゾーン/設定画面>のようにゾーン名をすべて「A」としてください。
この設定を誤ると暖まらない場合があります。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. 右図<ゾーン設定画面>のように

熱動弁	1	2	3	4
ゾーン	A	A	A	A

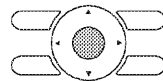
を確認したら、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. ゾーン設定確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<ゾーン設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

<確定確認画面>

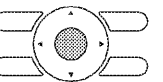
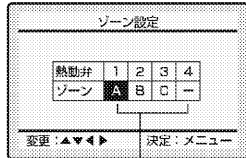


ゾーン名がすべて「A」でない場合

1. 「◀▶」ボタンで熱動弁(ヘッド)1、2、3、4、を選択し、「▲▼」ボタンでそれぞれゾーンを設定する。
「A」を選択してください。
間違った設定の場合、「メニュー/決定」ボタンでゾーン設定画面に戻り、もう一度設定し直してください。
2. 正しい設定の場合、ゾーン設定確定確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

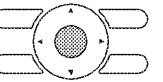
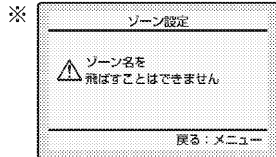
<現地設定メニュー画面>

<ゾーン設定画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す
すべてを「A」に変えてください。

<ゾーン設定不良画面>



<確定確認画面>

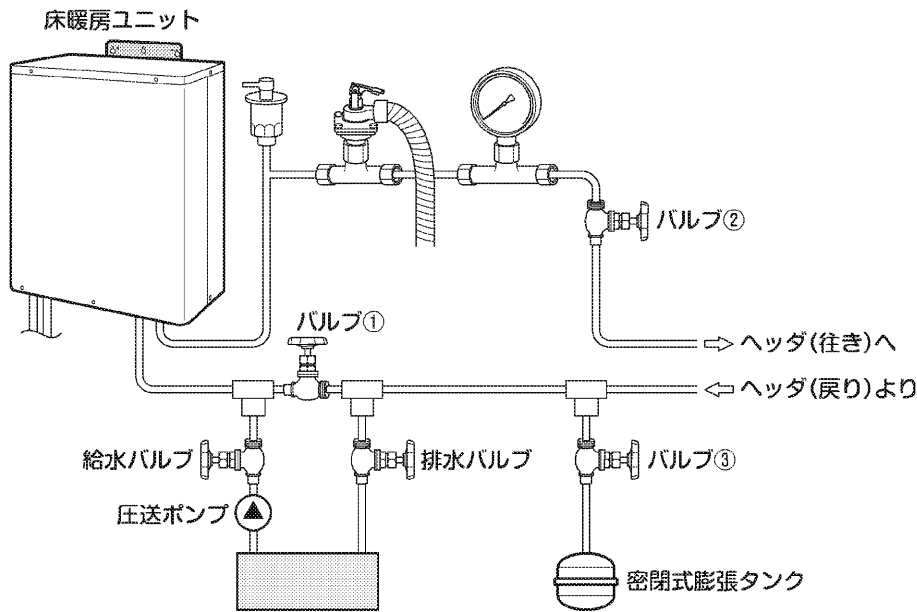
<現地設定メニュー画面>

「メニュー/決定」ボタンを押す

⑥ 給水運転 ①

先に **水回路への給水** と **エア抜き**、**4 配線工事** が終了していることと水回路での水漏れがないことを確認してください。

水回路への給水 詳細は **床暖房ユニットの据付け④** **3 温水配管工事** をご覧ください。



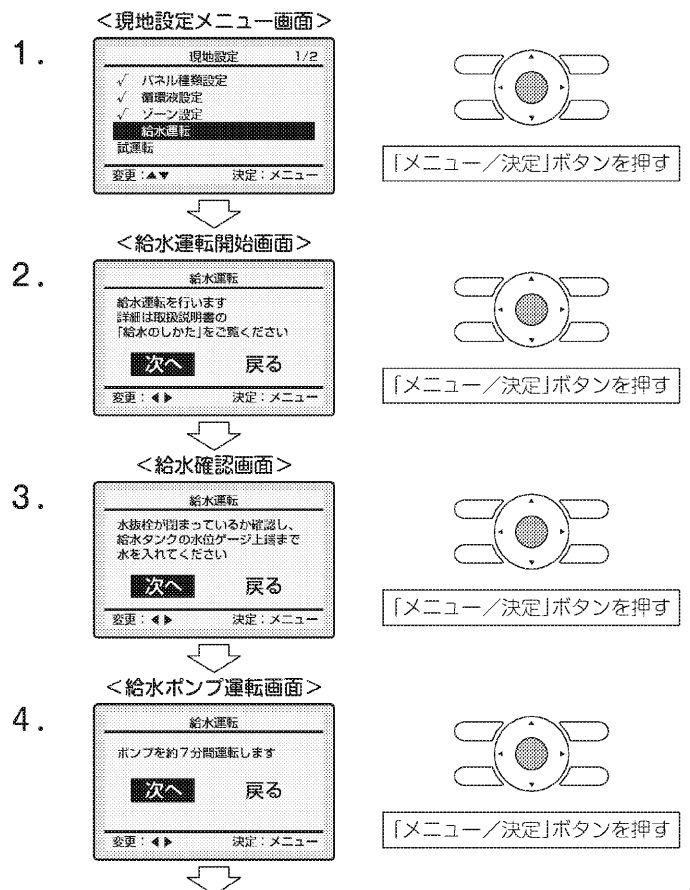
(1) 圧送ポンプにきれいな水道水または専用不凍液を入れる。
(異物を入れないよう注意)

(2) バルブ①を閉めて、給水バルブと排水バルブを開いて圧送ポンプを「ON」にして水回路へ排水する。

エア抜き 詳細は **床暖房ユニットの据付け④** **3 温水配管工事** をご覧ください。

(1) 上図のバルブ①を開けて、排水バルブを徐々に「閉」にする。

1. 現地設定メニュー画面で、**給水運転** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
4. **次へ** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
給水運転が開始する。
● 給水せずにポンプを運転すると、ポンプの故障原因になります。

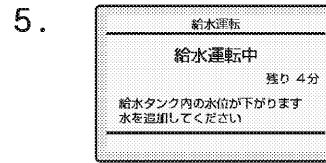


7 給水運転 ②

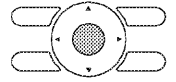
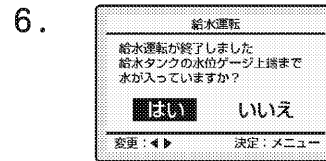
- 給水運転は、約7分で自動的に終了する。
- 給水運転が終了すると、給水運転完了確認画面が表示される。
はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 給水運転完了画面が表示される。
「メニュー/決定」ボタンを押す。
給水運転を終了し、現地設定メニューに戻る。

＜給水運転完了確認画面＞にならないときは、水回路を確認して、もう一度**①給水運転①**を行ってください。

↓
 <給水運転中 タイマー表示画面>

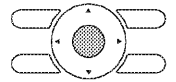
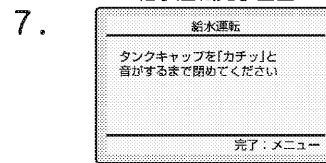


↓
 <給水運転完了確認画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

↓
 <給水運転完了画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

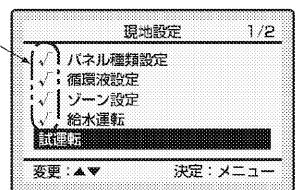
↓
 <現地設定メニュー画面>

8 試運転

※室外ユニットの誤配線・誤配管チェックを実施した後に試運転を行ってください。

- 現地設定メニュー画面で**試運転**を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。

「✓」が表示されていることを確認してください。「✓」はすでに設定していることを示します。「パネル種類設定」、「循環液設定」、「ゾーン設定」、「給水運転」は試運転前に必ず設定してください。



※ **試運転** 前に他のエアコンを停止してください。

- 試運転中画面が表示される。
 - 約20分間運転後、自動的に停止し、基本画面に戻る。

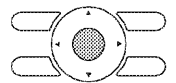
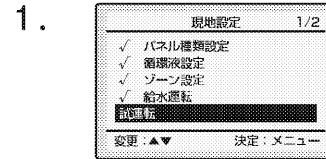
試運転時の注意

- リモコンに異常コード「92」が表示された場合は、電源電圧を確認してください。
- リモコンに「給水運転を行ってください」が表示された場合は、**床暖房ユニットの据付け①** **③ 温水配管工事**の**エア抜き**を確認して、もう一度試運転を行ってください。

試運転後の注意

- 床暖房ユニットを運転していないときでも、凍結防止や機能部品の固着防止のため、自動的にポンプを運転しますので、作業終了後もブレーカーを入れておいてください。水も常に入れておいてください。
- 冬期にお客様への引き渡しまでに電源ブレーカーを切られる場合には、凍結による機器の故障を防ぐため必ず水抜きを行ってください。引き渡し時に給水してください。(指定不凍液を使用の場合は、水抜きを行わないでください。)詳細は取扱説明書をご覧ください。

<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

↓
 <試運転中画面>

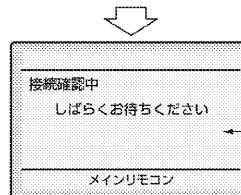


↓
 <基本画面>

現地設定メニューの設定を変更した場合

各設定確定後、「戻る」ボタンを押すと、下画面が表示され、基本画面に戻ります。

<現地設定メニュー画面>



← バックライトは消灯します。

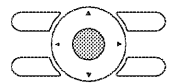
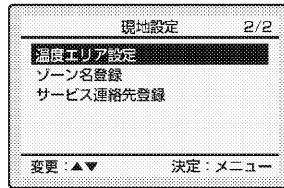
↓
 <基本画面>

9 温度エリア設定

密閉型 は熱動弁が組み込まれていませんので、全ゾーンがAゾーン1つです。
温度エリア設定は不要です。

1. 現地設定メニュー画面で、**温度エリア設定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押した場合
右図の<温度エリア設定画面>が出ますが
「戻る」を押して戻ってください。
右図と違う画面がでた場合は、**6ゾーン設定**を
確認してください。

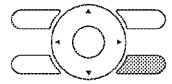
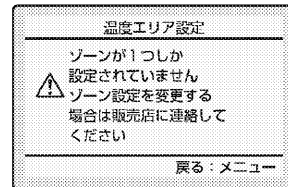
<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



<温度エリア設定画面>



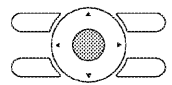
「戻る」ボタンを押す



<確定確認画面>



<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す

10 ゾーン名登録

密閉型 は熱動弁が組み込まれていませんので、全ゾーンがAゾーン1つです。
ゾーン名登録は不要です。

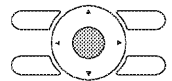
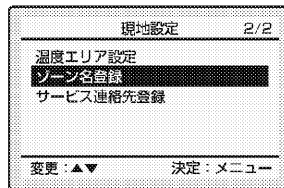
お客様のご要望があれば、次の手順でゾーンの登録名を選択してください。

1. 現地設定メニュー画面で、**ゾーン名登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. ゾーンAを選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. ゾーン名を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
●ゾーンの登録名は以下の通りです。

リビング1	子供部屋1	洗面所
リビング2	子供部屋2	トイレ
ダイニング	寝室1	風呂
キッチン	寝室2	登録なし

4. ゾーン名の登録後、**確定** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。

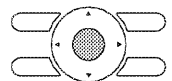
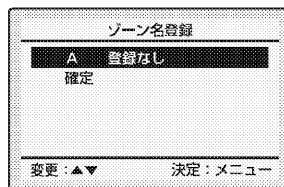
<現地設定メニュー画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



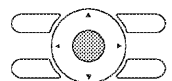
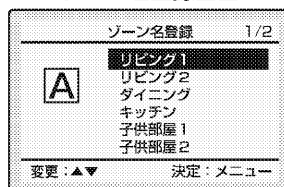
<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



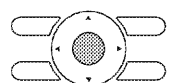
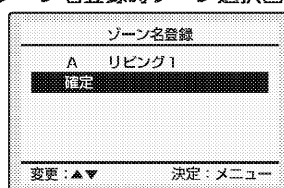
<ゾーン名登録画面>



「メニュー/決定」ボタンを押す



<ゾーン名登録時ゾーン選択画面>



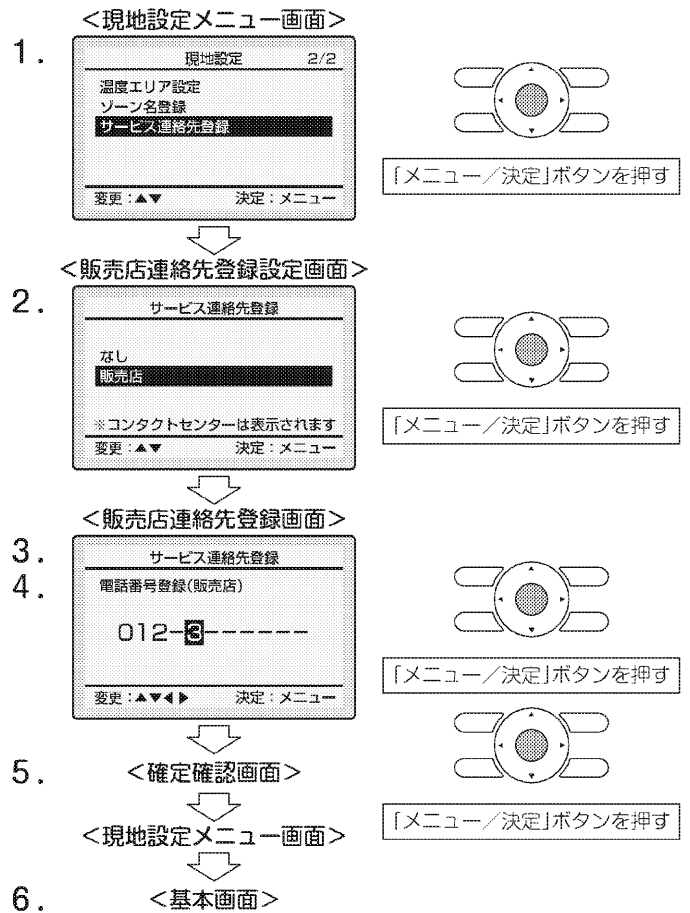
「メニュー/決定」ボタンを押す



<現地設定メニュー画面>

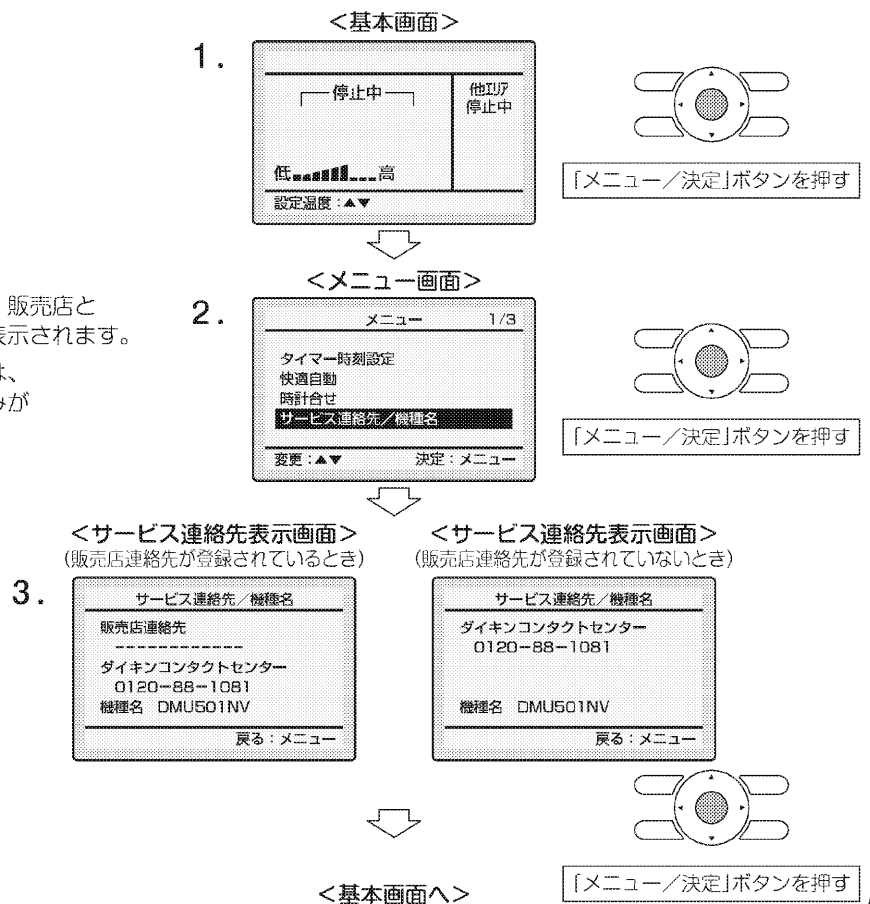
⑪ サービス連絡先登録

1. 現地設定メニュー画面で、**サービス連絡先登録** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **販売店** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで電話番号を入力する。
 - 左づめで入力し、余った桁は“-”のままにします。
 - ※ 電話番号の間違いにご注意ください。
4. 登録後、「メニュー/決定」ボタンを押す。
5. 確定確認画面が表示される。**はい** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。設定した内容が確定され、現地設定メニュー画面に戻る。
6. 「戻る」ボタンを押すと、**<現地設定メニュー画面>** → **<基本画面>** に戻ります。



登録内容の確認

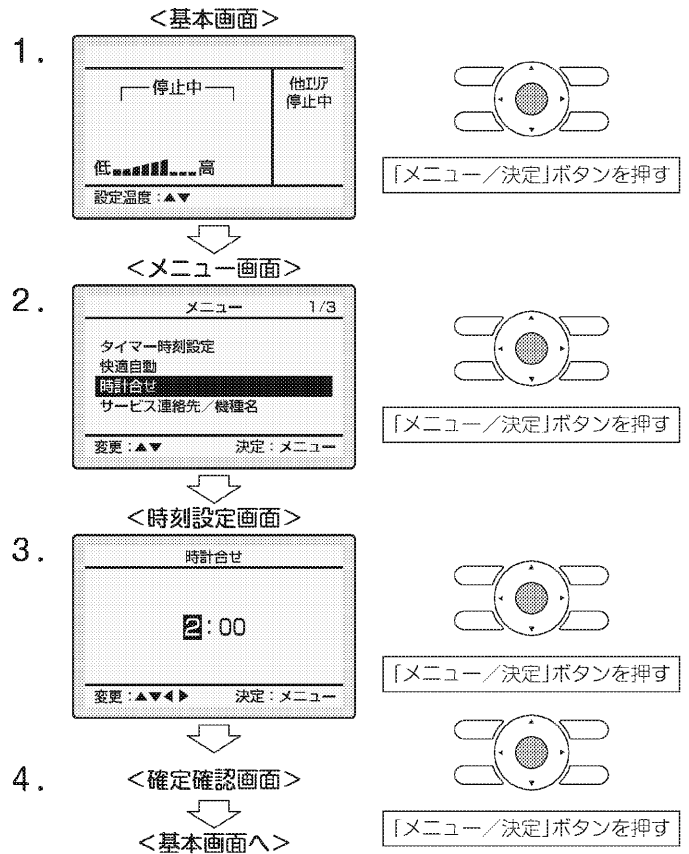
1. 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
2. **サービス連絡先/機種名** を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
3. サービス連絡先表示画面が表示される。
 - 販売店の電話番号が登録されている場合は、販売店とダイキンコンタクトセンターの電話番号が表示されます。
 - 販売店の電話番号が登録されていない場合は、ダイキンコンタクトセンターの電話番号のみが表示されます。
 「メニュー/決定」ボタンで、基本画面に戻る。



12 時計合せ

- 基本画面で、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- メニュー画面が表示される。
時計合せ を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
- 「◀▶」ボタンで位置を選択し、「▲▼」ボタンで【時(0~23)】【分(00~59)】を設定、「メニュー/決定」ボタンを押す。

- はい を選択し、「メニュー/決定」ボタンを押す。
設定した内容が確定され、基本画面に戻る。
 - 2台のリモコンを使用している場合は、片方を時刻設定するともう一方も同じ時刻に設定されます。(最大1分のずれがあります。)
 - 床暖房ユニットが複数台接続されている場合は、各床暖房ユニット毎のリモコンで時刻合せが必要となります。



最終チェック

下記の内容が完了していることを確認してください。 □欄でチェック(☑)をしてください。

チェック項目	不良の場合
<input type="checkbox"/> 安全ブレーカー1次側で電圧を測定し、200Vであることを確認してください。	運転不能
<input type="checkbox"/> 漏電しゃ断器は取りつけましたか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> D種接地工事は確実ですか。	漏電時危険
<input type="checkbox"/> 床暖房ユニットはしっかり据え付けられていますか。	振動・騒音・落下
<input type="checkbox"/> 温水配管の断熱は十分ですか。	凍結・機器故障
<input type="checkbox"/> 温水配管の接続は確実ですか。	水漏れ・暖まらない
<input type="checkbox"/> エア抜きは確実に行いましたか。	パネルヒーターの穴あき・水漏れ・暖まらない
<input type="checkbox"/> 電線は仕様どおりですか。	運転不能・焼損
<input type="checkbox"/> 電線は正しく接続されていますか。	暖まらない・焼損
<input type="checkbox"/> 安全弁、圧力計、密閉式膨張タンクは正しく取り付けられていますか。	暖まらない・機器故障・水漏れ
<input type="checkbox"/> 引き渡しまでに温水系統が凍結する可能性がある場合は、確実に水抜きを行ってください。	凍結・機器故障・水漏れ
<input type="checkbox"/> エアコン運動の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定部屋は間違っていないですか。 ● エアコン運動を使用しない場合は、自室を設定部屋にし、床暖房のリモコンでエアコン運動の設定を「切」にしましたか。 	暖まらない
<input type="checkbox"/> 初期設定の記録を取扱説明書の裏表紙と床暖房ユニットの前板(裏側)の鉄板に記入しましたか。	点検時情報不足

お願い

- 保証書に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の裏表紙の「初期設定の記録」に初期設定情報を記入し、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に運転操作のしかた、および温度調節のしかた)をご説明ください。

